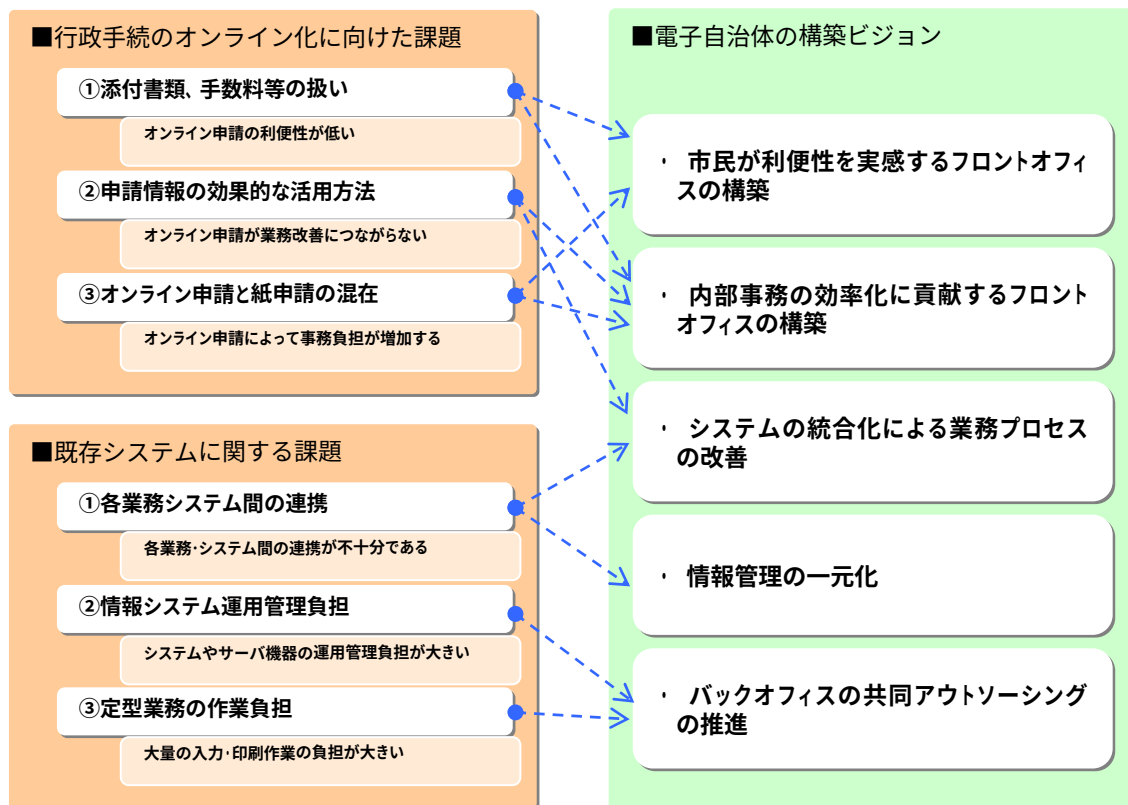


第4章 電子自治体の構築ビジョンと将来像

前頁で整理した課題を元に電子自治体の構築ビジョンを整理します。



1 電子自治体の構築ビジョン（目標）

（1）行政手続オンライン化の促進（フロントオフィスの電子自治体化）

新電子自治体推進指針等を踏まえ、市民が利便性を実感し、内部事務の効率化に貢献するフロントオフィスシステムを構築します。

また、住民基本台帳カード（以下、「住基カード」という。）の多目的利用を推進することとします。

▶ ビジョンⅠ

市民が利便性を実感するフロントオフィスの構築

▶ ビジョンⅡ

内部事務の効率化に貢献するフロントオフィスの構築

(2) 情報システムの円滑な連携による窓口等事務の改善（効率化）

現在の情報システムの課題を解決するとともに、行政手続のオンライン化による内部事務改善効果を一層高めるため、全体最適化の観点で情報システムの見直しを行います。

情報システムを円滑に連携し、システムの統合化による業務プロセスの改善及び情報管理の一元化を実現し、行政事務を効率化します。

▶▶ ビジョンIII

システムの統合化による業務プロセスの改善

▶▶ ビジョンIV

情報管理の一元化

(3) 情報システムに関するコストの削減（アウトソーシング）

サーバ機器の増加に伴い、サーバ管理が職員の負担になっている現状及び情報資産をより安全に管理することが求められている現状を踏まえ、データセンター³⁰の活用に向けた検討を行います。

データセンターの活用と併せて、行財政改革の観点からバックオフィスに関連する定型業務のアウトソーシングを検討します。

▶▶ ビジョンV

バックオフィスの共同アウトソーシングの推進

³⁰ データセンター：サーバ機器等を顧客から預かり、運用管理を行う施設。地震等の災害対策設備、入退室管理などのセキュリティ設備などを備えている。

2 各ビジョンの実現イメージ

ビジョンⅠ

市民が利便性を実感するフロントオフィスの構築

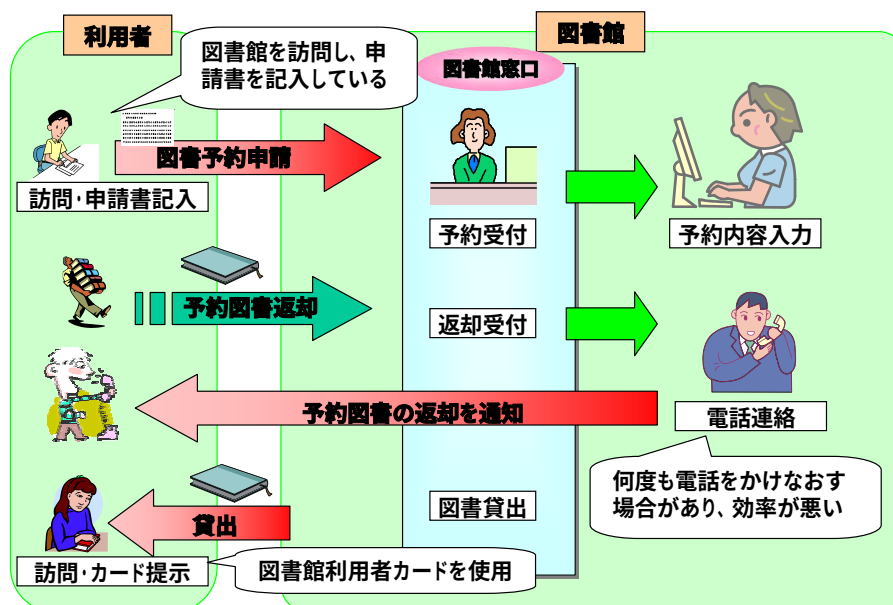
ビジョンⅡ

内部事務の効率化に貢献するフロントオフィスの構築

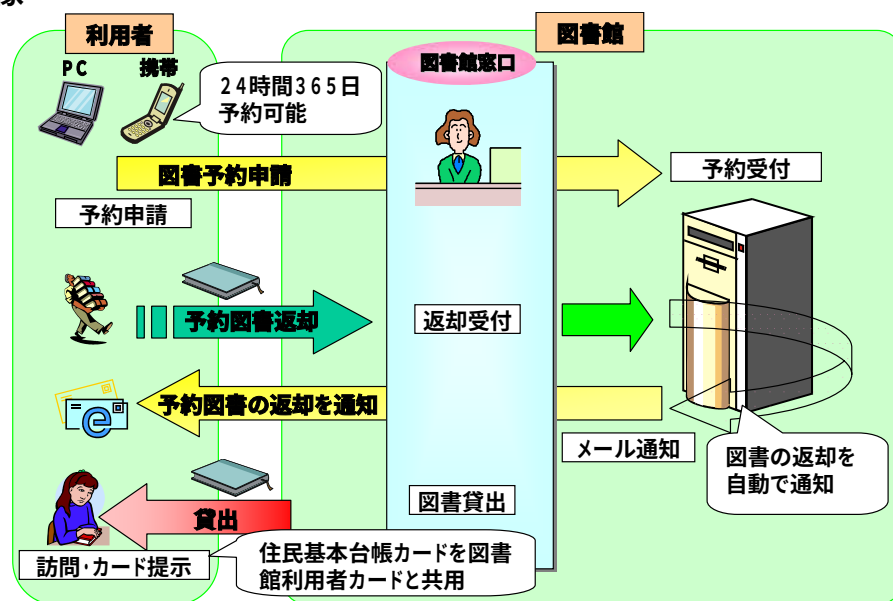
市民の利便性を向上し、内部事務の効率化が実現できるよう、手続手順を見直した上でオンライン申請を実現します。

例) 図書館の貸出予約の現状と将来像

現状



将来像



ビジョンIII

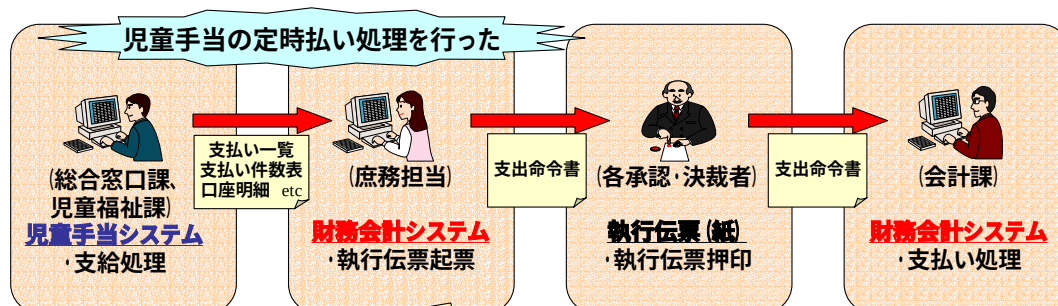
システムの統合化による業務プロセスの改善

セキュリティ面を考慮した上で基幹系ネットワーク、情報系ネットワークを一本化し、システムの統合化により業務プロセスの改善を実現します。

例) 児童手当の定時支払い業務の現状と将来像

現状

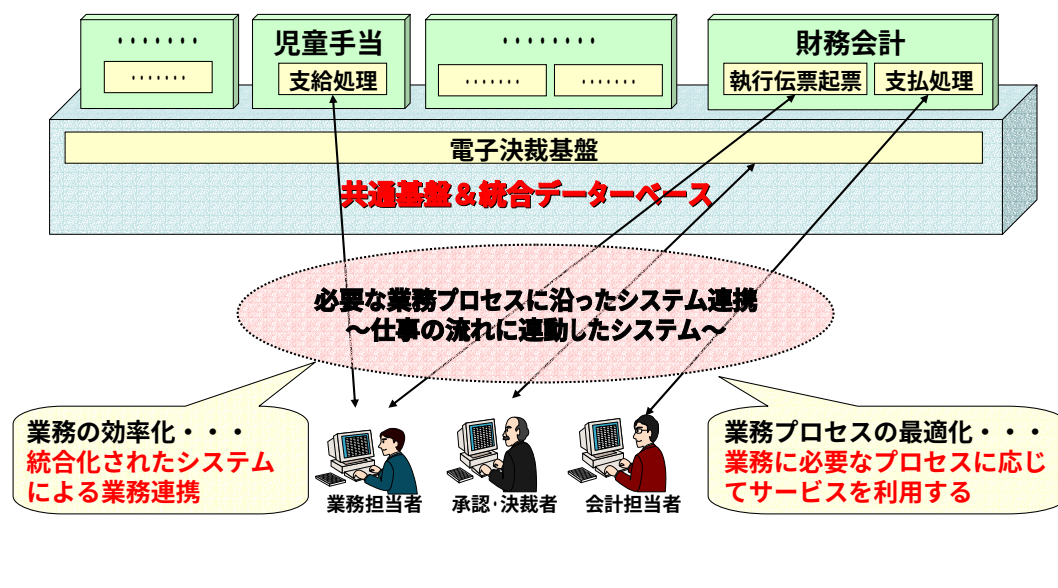
現在、一つの業務を実施するために、複数の職員が複数の端末で、複数のシステム（や手作業）を使い分けている。



課題:業務のプロセス(仕事の流れ)に人もシステムも合っていない
組織(職務分掌)、業務(=システム)は分かれていても、情報は運動している

将来像

複数の業務システムを統合化すること業務間の連携が円滑になる。



ビジョンⅣ

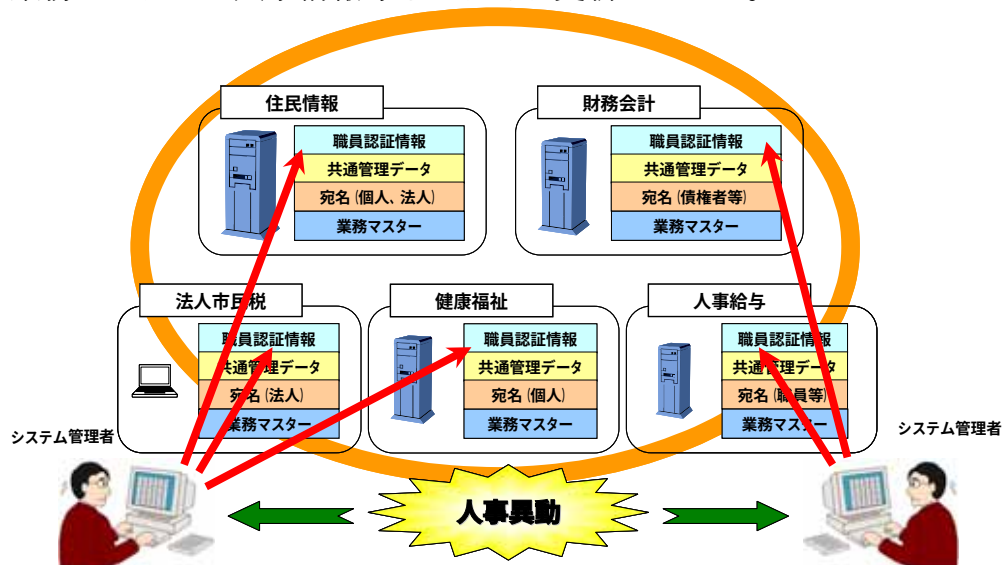
情報管理の一元化

情報の重複管理を排除し、情報を一元的に管理することにより、人事情報の更新作業等の情報システム管理にかかる作業効率を改善します。

例) 人事情報管理の現状と将来像

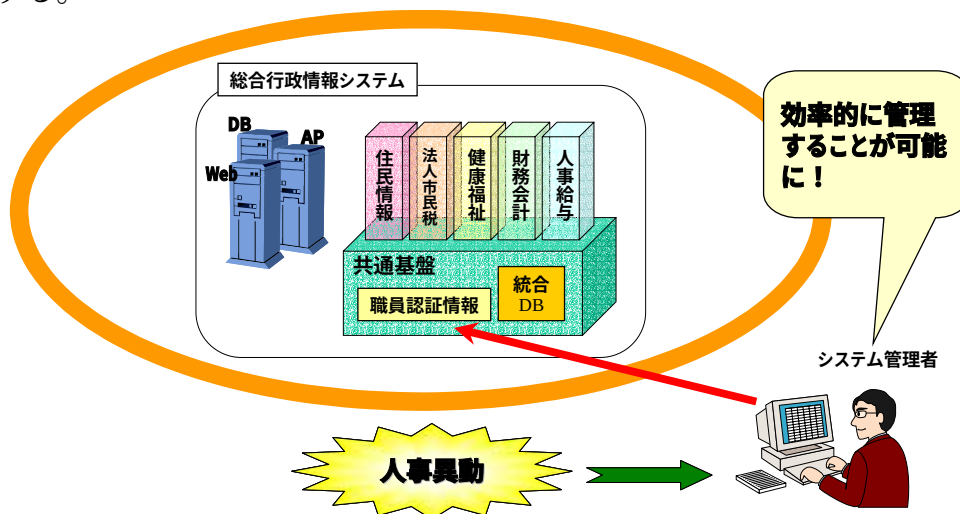
現状

人事異動が発生した際、住民情報システム、財務会計システム等、各業務システムの人事情報等をそれぞれ更新している。



将来像

人事異動が発生した際、各業務システムの人事情報等を一元的に更新する。



ビジョンV

バックオフィスの共同アウトソーシングの推進

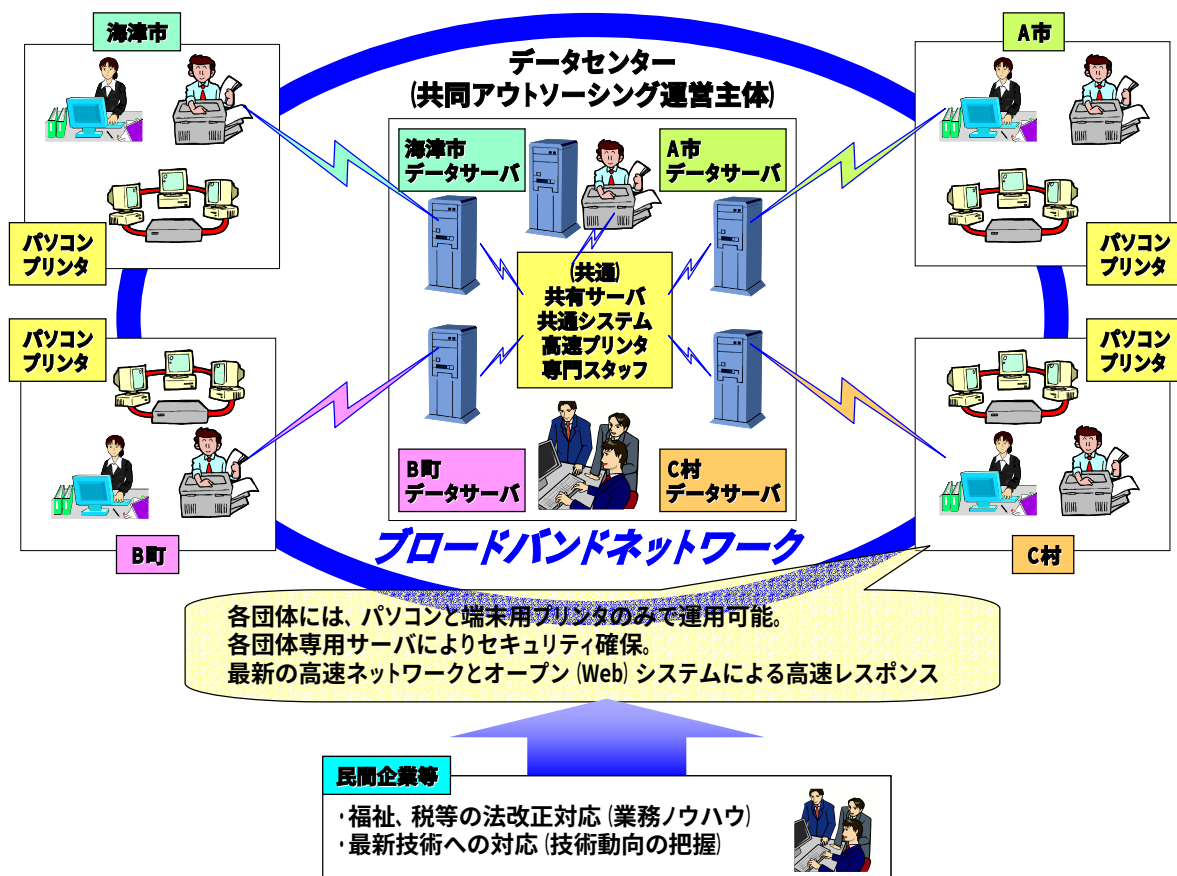
税、福祉関連等、毎年の法改正等に伴い、今後も情報システムの増加が見込まれる中で機器スペースや電源の確保、安定稼動のための十分な障害監視、技術の進展に合わせたセキュリティ対策の見直し等、これまでのように自前でサーバの維持管理を行っていくことは、経費的にも人力的にも困難な状況にあります。

また、地震等の災害時にも市民の情報を安全に保護することが求められています。

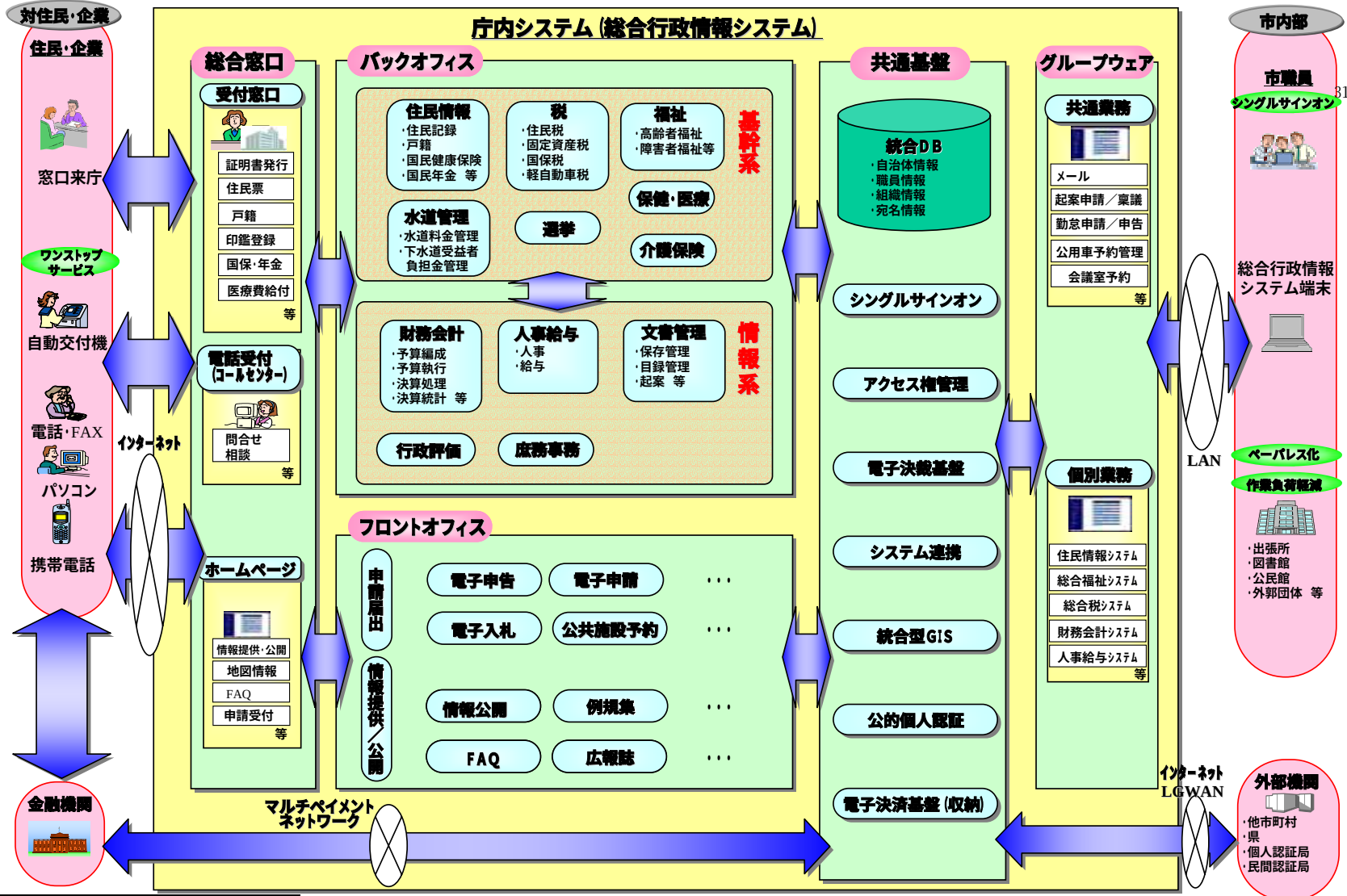
こうした状況に対応するため、費用対効果等を分析した上で、設備の充実した外部のデータセンターを活用し、情報システムの維持管理をアウトソーシングすることを検討します。

データセンターの活用併せて、バックオフィスシステムを他市町村と共同化することで、法改正等に伴うシステム改修経費等を削減するとともに、大量印刷作業等のバックオフィス業務をアウトソーシングする共同アウトソーシングの実現に向けた検討を行うこととします。

バックオフィスの共同アウトソーシングの実現イメージ



3 電子自治体システムの将来像



³¹ シングルサインオン：ユーザーが1回のログインで、複数のシステムにアクセスできるようにする機能